



令和 3 年 3 月 30 日

独立行政法人 国立科学博物館

「矢田部良吉デジタルアーカイブ」 歴史上の科学者に関する資料と物語を Web で公開

国立科学博物館(館長 林 良博)は、所蔵する「科学者資料」(科学者のノート、原稿、書簡、写真など)のうち、日本で最初の植物学教授であった矢田部良吉の資料をデジタル化して登録した IIIF データセットと、それを活用した電子展示の二つで構成される「矢田部良吉デジタルアーカイブ」を公開しました。

矢田部良吉資料には、明治初期の植物採集記録や、精緻な標本画の原画、女子教育についての考えを述べた原稿など、科学と教育の歴史を証言する貴重な資料が多数含まれます。今回のデジタルアーカイブによって、これらの資料へのアクセスがいっそう容易になります。同時に、個々の資料情報だけでは分からない、資料を読み解いて得られる科学者の物語も、専門研究者の視点から垣間見ることができます。「科学者資料」の世界を、ぜひご覧下さい。



電子展示「文明開化の科学者・矢田部良吉の生涯」

<https://dex.kahaku.go.jp/yatabe/>



科博 IIIF データセット

<https://iiif.kahaku.go.jp/list/>

矢田部良吉(1851 年生まれ、1899 年没)は、東京大学の初代植物学教授や、国立科学博物館(以下、科博)の前身である教育博物館の初代館長などを務めた人物であり、日本の近代植物学や高等教育に貢献しただけでなく、科博とも縁の深い科学者です。今回、矢田部本人に由来するノートや原稿、書簡など約 300 点をデジタル化し、その画像と資料データを、国際標準規格である IIIF^{*1}の定める形式で公開しました。さらに、このデータをもとにして、矢田部の生涯を紹介する電子展示も制作しました。

※1 IIIFとは、International Image Interoperability Framework の略称で、さまざまな資料保存機関が公開するインターネット上の画像を共通の方法で閲覧・利用可能にするといった国際的なコミュニティ活動をおこなっています。画像へのアクセス方法の標準化や、画像を束ねた資料構造などの標準化を進めています。

国立科学博物館では、これまでも多様な科学者資料を収集・保管・研究・展示してきました。その成果の一端は「標本・資料統合データベース」(<http://db.kahaku.go.jp/webmuseum/>)からご覧になれます。ただし、その多くは単なるデータの提示であり、資料の画像をユーザーが他の資料と並べて閲覧したり、自由に拡大縮小したりすることなどは、容易にできませんでした。また、たとえ個々の資料の画像と情報が提示されたとしても、そこから歴史上の科学者の生涯や様々なストーリーを読み解くことはとても難しいものです。

このたび公開するデジタルアーカイブは、矢田部良吉資料をIIIFの定める形式に整理した科博 IIIF データセット (<https://iiif.kahaku.go.jp/list/>)と、それを用いて制作された電子展示「文明開化の科学者・矢田部良吉の生涯」(<https://dex.kahaku.go.jp/yatabe/>)で構成されます。この二つは、個々の資料の画像と情報をユーザーが広く利用可能な形式で提供する一方で、それらの中からピックアップした資料を意味のある順序で並べ、専門家の解説とともに閲覧できる仕組みを提供するものです。これによって、資料を解釈する入り口としての展示と、その後の利用のためのデータセットの両方を、幅広く活用していただけます。

今後も、国立科学博物館は新たなデジタルアーカイブの構築とそれを利用した研究や展示手法の可能性について、検討してまいります。

【公開 Web サイト】

電子展示「文明開化の科学者・矢田部良吉の生涯」

<https://dex.kahaku.go.jp/yatabe/>

科博 IIIF データセット

<https://iiif.kahaku.go.jp/list/>

【電子展示・データセット作成】

独立行政法人国立科学博物館 理工学研究部 科学技術史グループ 有賀 暢迪(ありが のぶみち)

【問い合わせ先】

独立行政法人国立科学博物館

科学系博物館イノベーションセンター

マーケティング・コンテンツグループ

デジタルコンテンツ担当 中島、倉島

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

Tel: 03-5814-9158 Fax: 03-5814-9899

E-Mail: xr-contents@kahaku.go.jp